



姉小路 まちづくり 通信

京の街角 姉小路界隈ヨリ

平成二十二年十月・第六号 まちなかを歩く日のご案内

1. 姉小路界隈の町家・風景画展(藤田輝二作品展)のご案内

藤田輝二氏は、油彩画で「水のある風景画」を得意とする30年のキャリアを持つアマチュア画家です。1968年に立命館の経営学部を卒業後、国内及び海外企業の監査・経営の業務を手掛けてきました。葦ペン画は始めてまだ3年とのことですが、観る人にははっと思わせる強い感性を持っています。現在、京阪電車の主要駅と特急車両に藤田画伯の絵画が多数掲載されています。

その藤田画伯に、姉小路の日常的な風景を二十数点描いて頂きました。愛用のマウンテンバイクで、向島の自宅から姉小路へ通ってこられる元気さには68歳という年齢を感じさせず、またその描画力で姉小路を温かく優しく、そして簡潔に表現していただきました。

その風景画を集めた展覧会を11月13日(土)と14日(日)の両日、姉小路画廊(姉小路通柳馬場東入)で10時から19時まで開催致します。また同会場では10年来続く中京もえぎ幼稚園児のミニ行灯の展示や、18年来の「柳池会」の懐かしいビデオを多数放映する予定です。ぜひご来場をお待ちしております。



藤田輝二氏の風景画

2. 3町家の耐震・防火調査報告会のご案内(KARTHとの共催)

昨年から今年にかけて調査を実施した3町家(岡野、菊岡、谷口宅)をモデルとし、耐震性及び防火性を高める為の重要なポイントとその具体的手法の提案を行います。

家屋の構造や建物の新旧にとらわれず、地震・火災に強い姉小路界隈を創るきっかけになればと考えておりますので、ご町内の皆様のご来場をお待ちしております。

11月13日(土)、14日(日)の両日、ギャラリー象鯨(姉小路通柳馬場東入)で10時から17時まで開催致します。



耐震・防火調査を実施した町家

3. おもてなしの道・姉小路通のみちづくりのご案内

平成21年度、京都市と地元町内会、及び姉小路界隈を考える会は毎月1回の「ワークショップ」を開催してきました。その成果である「人が主役のみちづくり」の方針として「姉小路通のみちづくりは、地域のおもいやりを尊重し、行き交う人にやさしい通りと、通りを行き交う人のマナーアップを目指し、誰にでも安心・安全な姉小路通を実現すること。」と決定致しました。

地域の業務や居住と関係のない、混雑時の単なる迂回路としての自動車の乗り入れにはご遠慮願いたいものです。そこで現在、快適な歩行者空間を確保する為に、京都市と公安委員会が路側帯の拡幅検討の協議を続けています。また特に日曜日や休日がひどいとのことから、曜日や日時を限定した歩行者専用道路化の検討、みちの利用マナーの向上にむけて、今年も11月13日(土)、14日(日)の両日、姉小路通(富小路~柳馬場間)を17時から20時まで歩行者専用にして、行灯を路側帯に飾ります。

自動車通行止の静かなひとときを味わいながら、安心で安全な姉小路通の実現にむけて、より多くの方々からご意見をお寄せ頂きたいと考えておりますので、どうぞ宜しくお願ひ致します。



昨年の「まちなかを歩く日」の風景